



各地からの意見を今後の運動に活かそう 全国労職部会第24回総会

7月22日に、全国労職部会『第24回総会』が開催されました。各県代表、部会幹事、傍聴者など合わせて64名が出席し、3年連続のZOOM開催となりました。

開会にあたって、この1年に亡くなった組合員に哀悼の意を込めて黙祷をしました。部会執行部を代表して石田直道部会長は、この1年の主な取り組みを紹介しながら、私たちは命と健康、暮らしを守るために様々な労災職業病認定運動に力を入れてきた。要求を掲げ、その実現に向けた運動と組織拡大を追求してきた。本日の総会で活発な意見を交流しあい、全国で今後の運動に活かしていくことを期待したい」と挨拶しました。

来賓として、佐藤陵一闘争本部長、角田中央執行委員長の2名から連帯の挨拶をいただきました。

その後、議案提案、会計報告などがなされ、午後からの質疑・討論では、12件、(1件は文書)合わせて10人の発言がありました。分会からは古里書記が『組織拡大について』発言しました。他県からは『県を跨いだ組合員の移動』についての提言や各地での闘争の経過について発言がありました。また第3号議案の提言ではじん肺ハンドブックの改悪について言及されました。改悪前まで胸部CTは「あくまでも参考」と回答を得ていました。現行のじん肺法を順守し、管理区分申請時に不要な資料を求めない取り組みをしていくとのこと。提案された議案はすべて採択され、新たな方針と新体制が確立し、総会スローガンの確認と団結頑張ろうで終了しました。



77年目の終戦の日を迎えあらためて 平和への思いが いっそう強まる

暑い日が続いています。暑さとともに、戦争を、平和を語り継ぐ夏がめぐってきました。2月にはロシアがウクライナを突然攻撃して5カ月、戦争の惨状がテレビで放映され、平和への思いがいっそう強まる77年目の夏です。



ロシアのウクライナ侵略は、国連憲章と国際法に明確に反する暴挙です。重大なのは、ロシアのウクライナ侵攻に便乗して、日本では憲法9条を変えて戦争できる国にしようとする動きが急速に強まっていることです。

岸田首相は、「自衛隊を憲法9条に明記する改憲は、今こそ取り組まなければならない課題だ」と明言しています。また、「軍事費を現在の倍に増大させる」ことも狙い、「核保有」議論を進めるべきだと繰り返しています。「軍事には軍事で」「核には核で」という主張は、プーチン大統領と同じ立場です。大きな惨害を招いた侵略戦争への痛苦の反省の上に立って、日本国民が戦後大切にしてきた平和主義とは真逆の道です。

愛知県本部の平和宣伝 6月19日



日本国憲法は、『二度と戦争はしません。そのために軍隊は持ちません』ということをやっています。それは第2次世界大戦で2000万人のアジアの人々と、310万人の日本人が亡くなり、その痛恨の反省から生まれたアジアと世界に対する『不戦の誓い』なのです。世界に誓って作られた憲法9条は、アジア諸国との信頼関係の礎となっています。だから絶対に変えてはなりません。

みんなのひろば

暑中お見舞い申し上げます！

毎日、暑い日が続いていますね。コロナの4回目ワクチン接種は済みませうでしょうか？

組合員と家族のみなさん全員が、健康でこの暑い夏を乗り越えましょう！



この暑さに『かき氷』の文字を見ると、どうしても誘惑されてしまいます。写真はお抹茶のかき氷の中に、こしあんにくるまった餅が2個入っています。

もうどこのかき氷か、おわかりですね。

爽やかで涼しげな風景 奥入瀬溪流(青森)



十和田湖東岸から約14Km 続く国指定の天然記念物。日本を代表する清涼スポットの1つです。

川沿いに散策コースも整備されていますので、大小の滝などを眺めながら、のんびりと散策を楽しんでみたいですね。

8月の予定

- 6日 東海地協学習会・原水禁世界大会
- 8~9日 北信越支部第80回執行委員会
- 11~16日 夏季休暇
- 20日 県本部 第246回執行委員会
- 22日 分会第3回会議 中止
- 27~28日 中央本部第24回定期大会
- 30~31日 東京地裁第2回口頭弁論

ご案内

※ 第3回分会会議 8月22日(月)は、コロナ感染者が増加していることから中止します。

親睦会コロナで 開催中止

8月22日(月)に木曽路瀬戸店において、親睦会を予定していましたが、愛知県は1日にコロナ感染者が1万人を超える日もあり、感染防止を第1に考えて中止とさせていただきます。

熱中症を知って予防しよう

日本の夏は、高温多湿で大変過ごしにくく、最近では熱中症で倒れる人が珍しくないほど温暖化が進んでいます。またコロナとも症状がよく似ているので、コロナと熱中症との判断が難しいこともあります。

コロナ感染にも、熱中症にもならないようしっかり予防し、暑い夏を乗り切りましょう！

大好評 そうめん・つゆの販売

大好評 島原手延べそうめん

そうめん 1,500円

めんつゆ(あごだし) 450円

ご贈答用には包装します。

長崎県南島原市で生産される島原手延べそうめんは全国の手延べそうめんの約30%を製造している、そうめんのトップブランドです。

島原手延べそうめんは機械製麺のそうめんとはその製造工程が大きく異なり、時間をかけて丁寧に熟成させながら作ることで、茹で伸びしにくく、しっかりとしたコシと歯ごたえ、小麦の豊かな味と香りを楽しむことができます。

